

SNS 経由でアルバイトの応募経験がある割合は 26.5%で、前年比 4.7pt 増
一方、SNS で怪しい求人の勧誘を受けたことがある割合は 6 人に 1 人
就職活動を意識してアルバイト先を決めた割合は 31.5%と過去最高に
「大学生のアルバイト調査(2024 年)」

株式会社マイナビ(本社:東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員:土屋芳明)は、大学 1 年生から 4 年生を対象とした、「大学生アルバイト調査(2024 年)」を発表しました。本調査は今年で 6 回目となります。

TOPICS

- ◆ SNS 経由でアルバイトの応募経験がある割合は 26.5%で、前年比 4.7pt 増。SNS で怪しい求人の勧誘を受けた割合は 16.6%の 6 人に 1 人となり、SNS 活用の危険な一面が見られた【図 1、2、3、4】
- ◆ アルバイト選びの際、親の関与がある割合は 60.0%で前年より 3.5pt 増加【図 5、6】
- ◆ 就職活動を意識してアルバイトを決めた割合は 31.5%で、調査開始以来最高に【図 7、8】

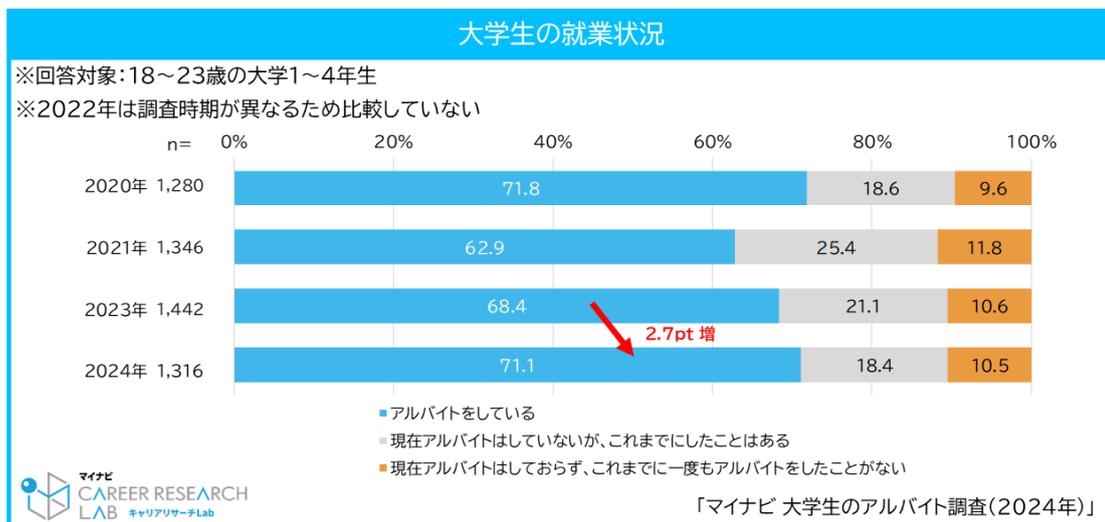
【調査概要】

SNS 経由でアルバイトの応募経験がある割合は 26.5%で、前年比 4.7pt 増。SNS で怪しい求人の勧誘を受けた割合は 16.6%の 6 人に 1 人となり、SNS 活用の危険な一面が見られた

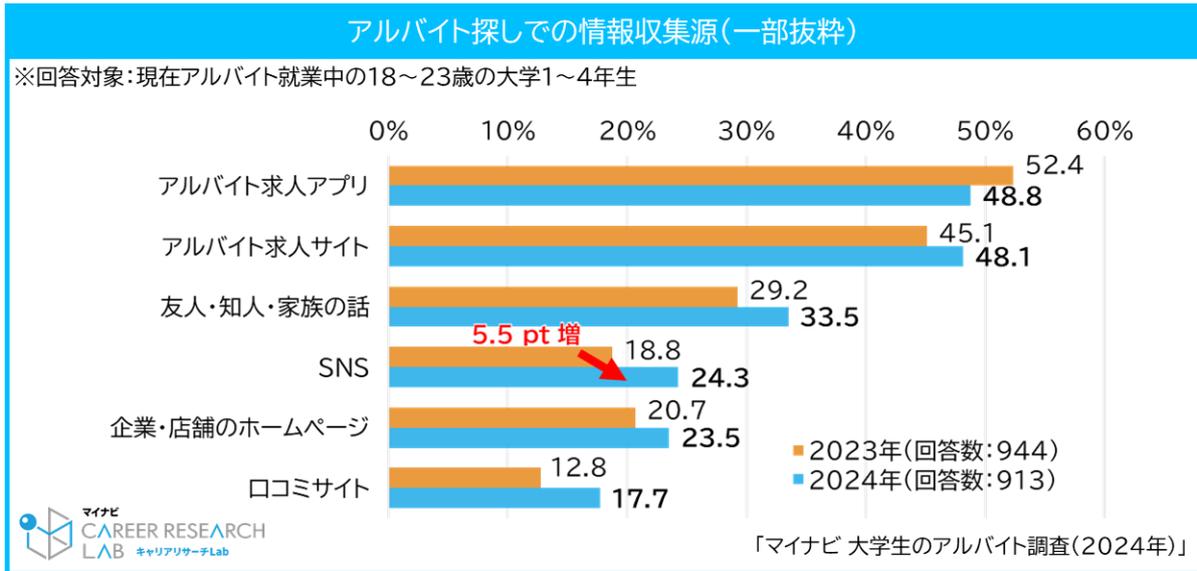
アルバイトをしている大学生は 71.1%で前年より 2.7pt 増加した。アルバイト探しの情報収集源は、「アルバイト求人アプリ(48.8%)」が最も高く、次いで「アルバイト求人サイト(48.1%)」となった。前年からは、「SNS(24.3%)」が 5.5pt 増と最も増加した。

また、SNS 経由でのアルバイトの応募経験がある割合は 26.5%と前年比 4.7pt 増。実際に SNS 求人で働いた経験があったのは 24.6%と前年比 5.5pt 増で、SNS 経由でのアルバイト探しが浸透しつつある様子がうかがえる。一方、SNS で怪しい求人の勧誘を受けた割合は 16.6%の 6 人に 1 人程度となり、SNS の危険な一面が見える結果となった【図 1、2、3、4】

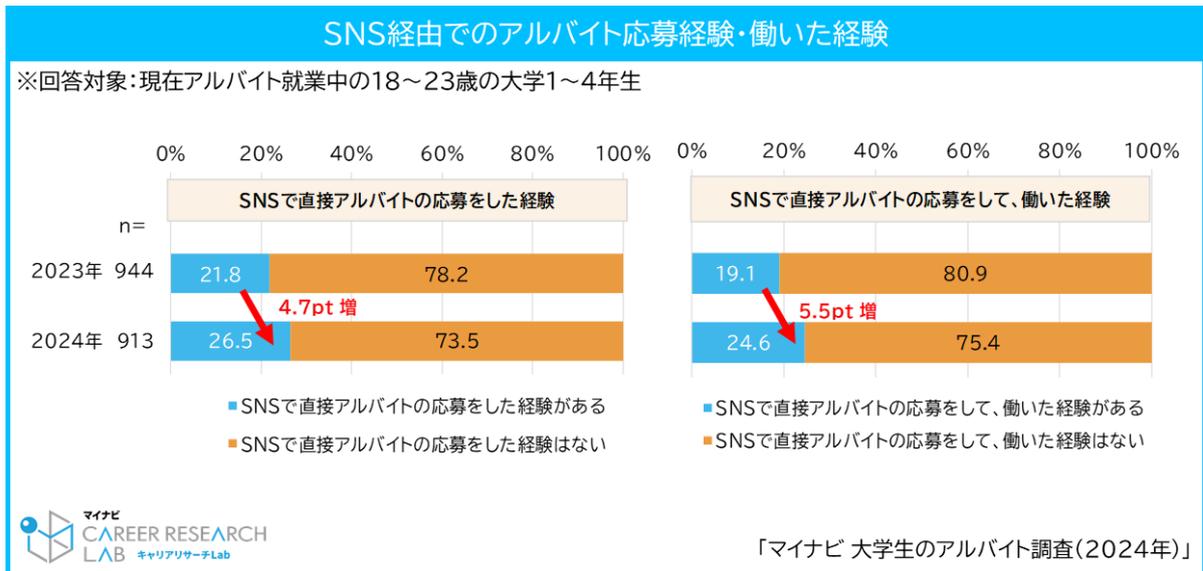
【図 1】



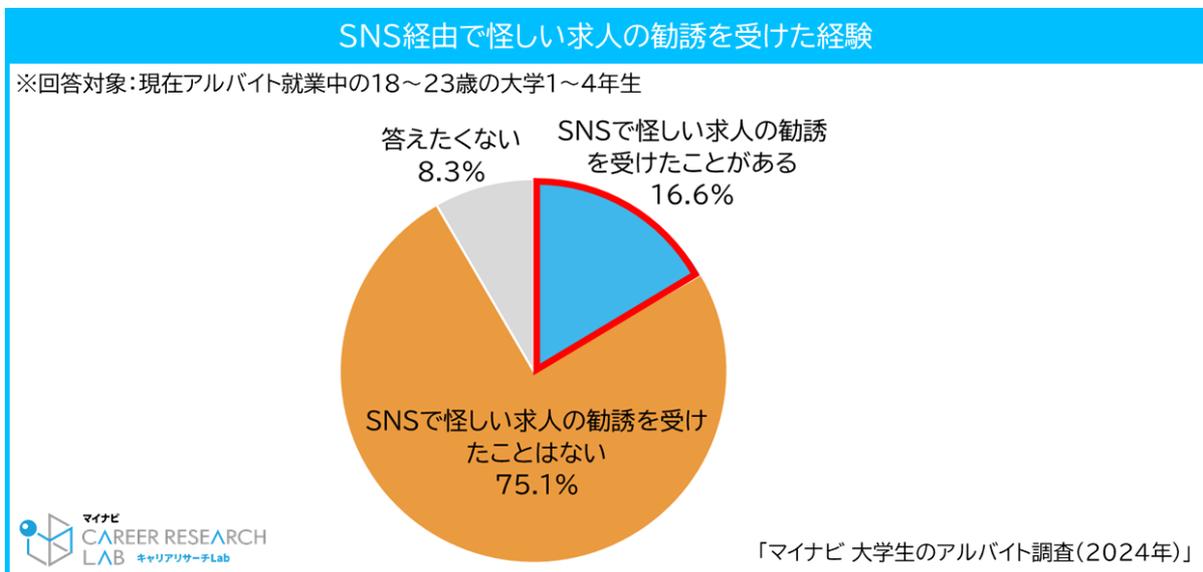
【図 2】



【図 3】



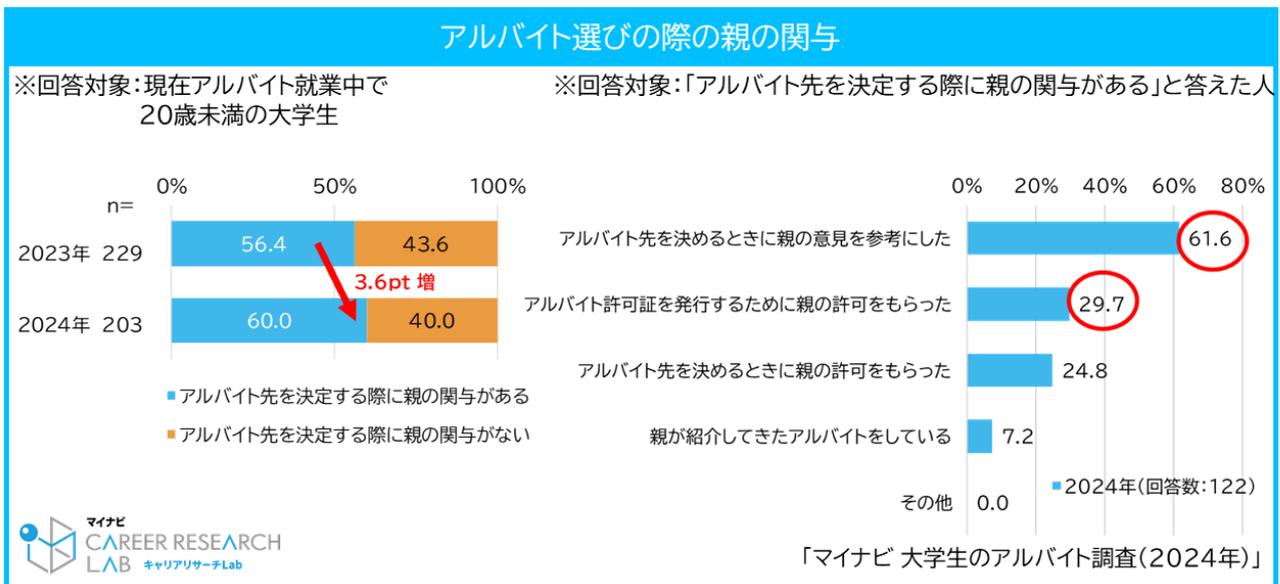
【図 4】



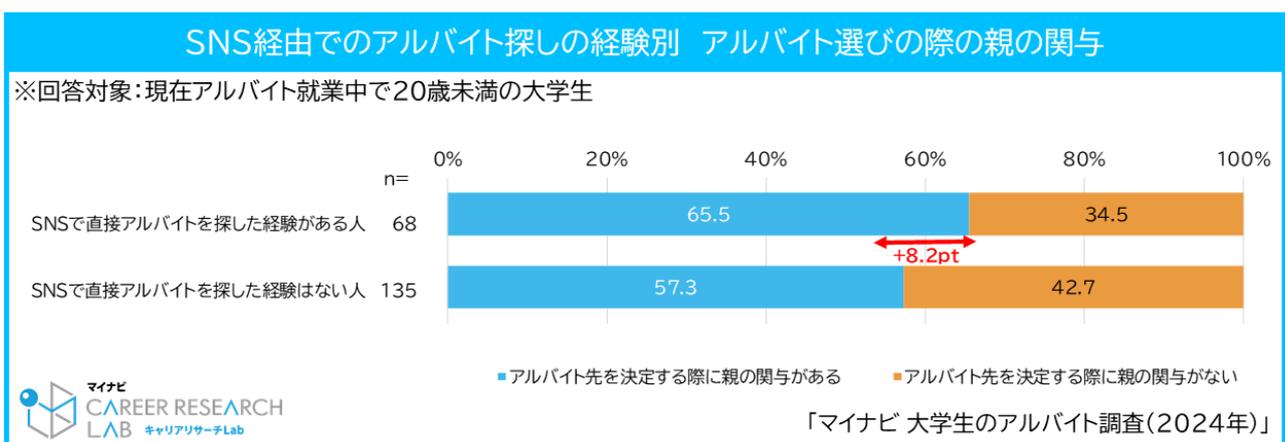
アルバイト選びの際、親の関与がある割合は 60.0%で前年より 3.5pt 増加

アルバイト選びの際に親の関与がある割合は 60.0%で前年より 3.6pt 増加した。関わり方は「アルバイト先を決めるときに親の意見を参考にした」が 61.6%と最も高く、次いで「アルバイト許可証を発行するために親の許可をもらった」が 29.7%となった。また、SNS 経由でのアルバイト探しの経験の有無別に見ると、ある人はない人より、「アルバイト先を決定する際に親の関与がある」が高く 65.5%で 8.2pt 上回った。SNS やインターネット上で募集される、高額報酬をうたった危険な仕事、いわゆる「闇バイト」に学生自身も知らないうちに加担してしまうことが社会的な問題となる中で、SNS でアルバイト探しをする人は、事前に親へ相談する人が増えていることが推察される。【図 5、6】

【図 5】



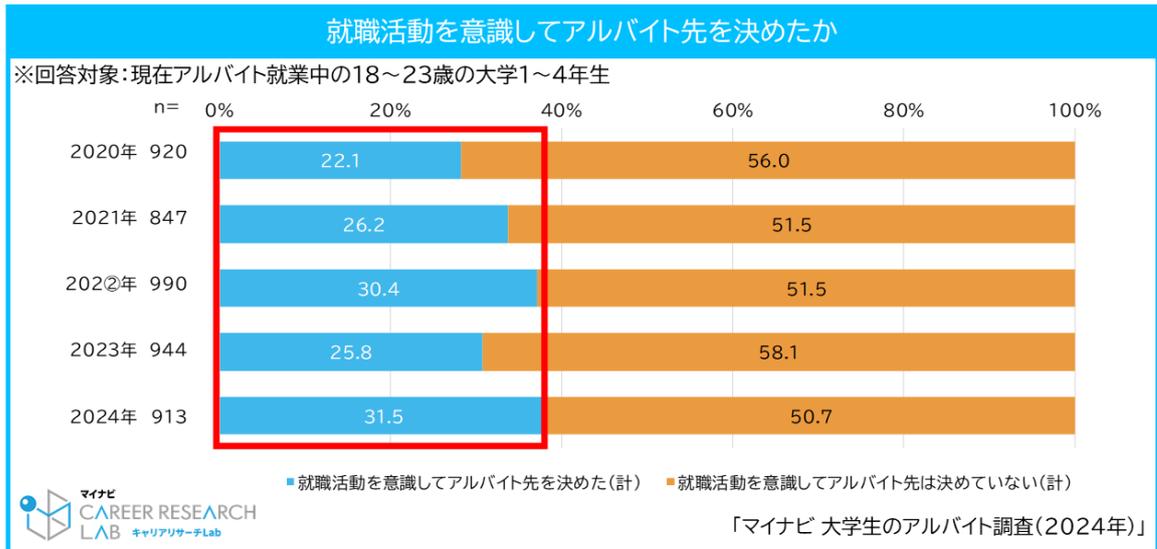
【図 6】



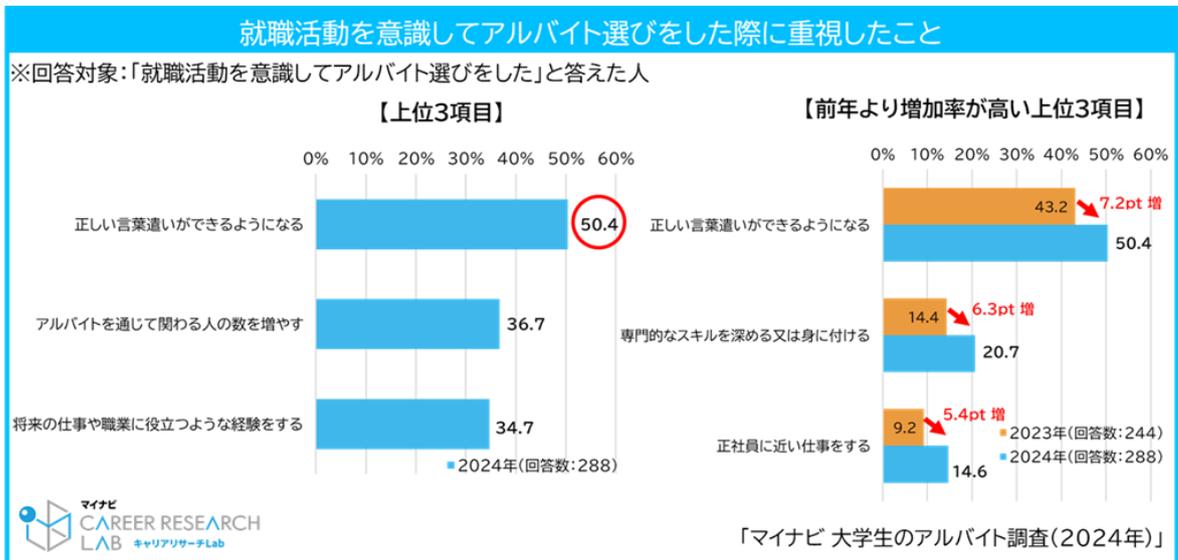
就職活動を意識してアルバイトを決めた割合は 31.5%で調査開始以来最高に

就職活動を意識してアルバイト先を決めた割合は 31.5%で、2020 年の調査開始以来最高となった。アルバイト選びで重視したことは、「正しい言葉遣いができるようになる(50.4%)」が最も高く、前年比でも 7.2pt 増と最も増加した。次いで「専門的なスキルを深める又は身に付ける」が 6.3pt 増、「正社員に近い仕事をする」が 5.4pt 増となり、ビジネスマナーに加えて、専門的なスキルの習得を意識してアルバイト選びを行う大学生が増えた様子がうかがえる。新卒採用で職種別採用が広がり、必要なスキルが明確になったことが影響しているとみられる。【図 7、8】

【図 7】



【図 8】



【調査担当者コメント】

就職活動を意識してアルバイト選びをしている学生が過去最高となりました。新卒採用において職種別採用が広がる中で※1、社会に出る前にアルバイトを通じて専門的なスキルを身に付けたいと考える学生の意識がうかがえました。

また、SNS でのアルバイト探しは、応募の手軽さや働き始めるまでの期間が短いことなど効率的な一方で、怪しい求人の勧誘を受けた学生もおり、危険な一面も見られる結果となりました。社会経験が少ない学生がトラブルに巻き込まれないように、身近な大人である親から積極的にコミュニケーションを取っていくことも重要であると考えられます。

※1 2025 年卒 大学生 活動実態調査（3 月）

キャリアリサーチラボ 研究員 三輪希実

『大学生のアルバイト調査(2024 年)』

- 目的:大学生のアルバイトの実態と意識を明らかにすること
- 調査名:「アルバイト就業者調査(2024 年)」より大学生サンプルのみ抽出し作成
- 調査地域:全国
- 調査方法:インターネット調査
- 対象者:18~23 歳の大学 1~4 年生 ※短期大学、専門学校、大学院生は除く
- 回収数:就業者 913 サンプル、非就業者 381 サンプル
- 実施期間:2024 年 2 月 15 日(木)~2 月 19 日(月)

※調査結果の詳細はこちら。

(<https://www.mynavi.jp/news/>)からご確認いただけます。

「働く」の明日を考える マイナビキャリアリサーチ Lab



『マイナビキャリアリサーチ Lab(ラボ)』は、雇用や労働に関連する様々な調査データやレポートを通じて、雇用の在り方や個人のキャリアを考える上で役立つ情報を提供するサイトです。蓄積してきた調査結果、新たに分析した雇用関連のレポート・コラム、市場データといった情報の提供を行い、組織と個人をつなぎ、社会全体でキャリアの在り方を考える一助を担います。

【お問い合わせ先】 株式会社マイナビ 社長室 広報部 小池 Email:koho@mynavi.jp